

第4回定例会 予算決算委員会（全体会） 会議録

日 時 令和7年12月10日（水曜日）

午後12時1分開会、午後12時21分閉会

場 所 第1委員会室

日 程

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 審査内容

議案第92号 令和7年度土浦市一般会計補正予算（第4回）

第1表 歳入歳出予算補正歳入全部

4 閉 会

出席委員（22名）

委員長	下村 壽郎
副委員長	奥谷 崇
委 員	竹内 裕
委 員	寺内 充
委 員	古沢 喜幸
委 員	吉田 千鶴子
委 員	海老原 一郎
委 員	鈴木 一彦
委 員	小坂 博
委 員	平石 勝司
委 員	今野 貴子
委 員	島岡 宏明
委 員	勝田 達也
委 員	目黒 英一
委 員	矢口 勝雄
委 員	福田 勝夫
委 員	平岡 房子
委 員	根本 法子
委 員	田中 義法
委 員	滝田 賢治
委 員	吉田 直起
委 員	柳澤 健二

欠席委員（２名）

委 員 篠塚 昌毅

委 員 菅井 歩美

説明のため出席した者（７名）

市長公室長 山口 正通

総務部長 塚本 浩幸

保健福祉部長 水田 和広

こども未来部長 真家 達成

教育部長 加藤 史子

議会事務局長 櫻井 良哉

財政課長 瀬古澤 時人

事務局職員出席

次 長 小野 聡

係 長 津久井 麻美子

主 任 岩松 英統

主 幹 高橋 陽平

主 事 古宮 英剛

傍聴者（０名）

○**下村委員長** ただ今から予算決算委員会を開会いたします。本日は、本定例会において当予算決算委員会付託されました議案第92号令和7年度土浦市一般会計補正予算（第2回）のうち、歳入等についての審査を行います。この全体会での質疑は、歳入についてのみでお願いいたします。歳出につきましては、各分科会において審査をお願いいたします。また、分科会終了後、再度全体会を開催し、予算決算委員会としての結論をまとめてまいりますので、よろしくお願いいたします。早速、審査に入ります。サイドボックスの本会議、令和7年、第4回定例会、事前配布資料、議案第84号から116号を御準備願います。それでは、議案第92号令和7年度土浦市一般会計補正予算（第4回）、第1表歳入歳出予算補正予算歳入全部を議題といたします。執行部より説明をお願いいたします。

○**瀬古澤財政課長** 私のほうからは、今回の補正予算の歳入について、議案書を使って説明をさせていただきます。議案書の27ページ、第1表歳入歳出予算補正の歳入でございます。今回の歳入の補正予算では、当初予算に見込めなかった事業費などの財源としまして、表にございますとおり、国庫支出金、県支出金、寄附金、繰入金を計上しております。合計7億5,528万円を増額計上し、総額を621億2,171万円とするものでございます。この内容につきまして、御説明させていただきますので、34ページをお願いいたします。それでは、上のほうから説明をさせていただきます。16款国庫支出金、1項国庫負担金につきましては、合計の補正額欄にございますとおり、1,125万6,000円を増額計上するものでございます。1目民生費国庫負担金につきましては、上から2節特別障害者手当等給付費負担金は、在宅の重度障害者、障害児などに対して支給しております特別障害者手当等につきましては、今年度は手当単価の増などにより不足が見込まれることから、扶助費を増額計上しております。その特定財源としまして、事業費の4分の3に当たる125万1,000円の増額計上、その下、4節自立支援医療費負担金は、障害の程度の軽減や身体機能の維持が期待される手術などに係る更生医療費については市から助成を行っておりますが、今年度は対象者の増などにより給付費に不足が見込まれることから、こちらも扶助費を増額計上しております。その特定財源としまして、事業費の2分の1に当たる957万6,000円を増額計上するものでございます。2目衛生費国庫負担金につきましては、1歳未満児で入院養育が必要な未熟児における医療費の自己負担分につきましては、市から助成を行っておりますが、支給額が見込みよりも増加しております。予算に不足が見込まれることから、寄附金となります扶助費を増額計上しております。その特定財源としまして、事業費の2分の1に当たる42万9,000円を増額計上するものでございます。つぎに、2項国庫補助金、2目民生費国庫補助金につきましては、国の制度により家計負担が大きくなる妊娠時や出産時にそれぞれ5万円の給付金を支給する妊婦支援給付金支給事業を市では実施しておりますが、同事業に関して、国のシステム標準化に伴うシステム改修のための電算委託料を増額計上しております。その特定財源としまして、事業費の3分の2に当たる妊婦のための支援給付費補助金5万8,000円を増額計上するものでございます。その下、4項国庫交付金につきましては、合計の補正額欄にごい

ますとおり、1億5,182万5,000円を増額計上するもので、2目民生費国庫交付金につきましては、説明欄御覧いただきまして3項目ございますが、1項目めの子供のための教育保育給付交付金は、私立の保育園や認定こども園などに対する保育給付金につきましては、今年度の公定価格改定に伴い不足が見込まれることから、今回の補正予算で増額計上しておりまして、その特定財源としまして、給付費の2分の1に当たる9,647万4,000円を増額計上、2項目めの子育てのための施設等利用給付交付金につきましては、子ども子育て新制度に移行していない幼稚園や認定こども園の預かり保育料などに係る無償化対象分に対する交付金でございますが、こちらは令和5年度事業分における追加交付金で32万2,000円の計上でございます。3項目め、妊婦のための支援給付費交付金につきましては、先ほど国庫補助金でも触れました妊娠出産時における給付金に当たる財源となっておりますが、今年度は給付対象の追加などにより支給額が増えておりまして、扶助費を増額計上しておりますことから、その特定財源としまして、扶助費の10分の10、全額に当たる1,000万円の増額計上、7目教育費国庫交付金は、エネルギー食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者等を支援する目的で、国が昨年12月の補正予算に計上しました重点支援地方交付金、こちらにつきましては、今年度に示されました追加交付分4,502万9,000円を増額計上でございます。当初分につきましては、本年2月の臨時議会で補正計上しまして、その一部につきましては、本市の子育て世帯の負担軽減を図るために実施しております市立小学校、中学校、義務教育学校の児童生徒の教育費の無償化分の財源に充当いたしました。こちら追加交付分につきましても前回同様、給食費無償化分の財源充当し、一般財源からの財源更正を行うものでございます。つづきまして、県支出金でございます。17款県支出金、1項県負担金につきましては、合計の補正額欄にございますように、5,323万9,000円を増額計上するものでございます。いずれも国庫支出金にて御説明しました事業に係る県分の財源でございます。1目民生費県負担金につきましては、上から、3節自立支援医療費負担金は国庫負担金で御説明しました更生医療費に係る市の助成金の県負担分で、扶助費の4分の1に当たる478万8,000円を増額計上、4節児童福祉費負担金は、国庫交付金で御説明しました保育給付費の公定価格改定分の増額補正における県の負担分で、給付費の4分の1に当たる4,823万7,000円を増額計上、2目衛生費県負担金は国庫負担金で御説明しました未熟児養育医療給付費の増額補正分に充てられる県分の財源で、給付費の4分の1に当たる21万4,000円を増額計上するものでございます。その下、3項県委託金、1目総務費県委託金でございますが、こちらは今年度実施しております国勢調査に係る事業費につきましては、国の委託金10分の10で賄われているところでございますが、今般追加の委託金の交付決定がありまして、記載のとおり、102万3,000円を増額計上するもので、事務に従事する職員の時間外手当や、回収した調査票の整理保管に活用した施設の電気使用量の補正増額分に充当いたします。35ページをお願いいたします。19款寄附金、1項寄附金につきましては、合計の補正額欄にございますとおり、5億1,283万7,000円を増額計上するものでございます。1目ふるさと土浦応援寄附金につきましては

は、説明欄を御覧いただきまして、2項目ございます。まず、1項目めは、ポイント制度の終了などによる駆け込み寄附の増などにより、9月議会の追加補正でも増額計上しましたふるさと土浦応援寄附金でございますが、9月以降につきましても、前回の補正で見込んだ以上の寄附をいただいている状況でございます。今後もさらなる寄附金の増を見込んでの5億円の増額計上、2項目めの企業版ふるさと納税につきましても、本年10月末時点で歳入しました7件分1,180万円を増額計上するもので、このうち9月末にいただきました1,000万円の寄附のうち、250万円を活用し、地域活性化、本市の知名度向上などを目的に、今年度末の開催に向けて準備を進めますeスポーツイベントの開催委託料を歳出補正で増額計上しておりまして、残りの寄附金、寄附額750万円は、本年9月議会で条例制定しました土浦市企業版ふるさと納税基金に積み立てまして、次年度以降の開催の財源とする予定でございます。6目教育費寄附金につきましては、年々増している、夏の暑さによる学校での熱中症対策としまして、冷却用の氷をストックできる製氷機を各校に設置しておりますが、土浦一中、都和中、新治義務教育学校における老朽化した製氷機各校1台分ずつ、計3台の更新のための備品購入費を増額計上しておりまして、その特定財源としまして、民間企業からの寄附金103万7,000円を増額計上するものでございます。20款繰入金、1項特別会計繰入金、4目国民健康保険特別会計繰入金につきましては、特別会計で実施しております出産育児一時金につきまして、一般会計からの繰入金を財源としておりますが、前年度の事業実績に基づく精算分の一般会計の戻し分6,000円の計上でございます。2項基金繰入金、9目公共施設等総合管理基金繰入金は、今回の補正予算におきましては、不具合が続く神立地区コミュニティセンターにおける空調設備の更新工事費を増額補正しておりまして、その財源としまして、事業費の全額に当たる2,503万6,000円を繰り入れるものでございます。当基金につきましては、公共施設等の整備、改修、更新及び除却に要する資金に充てる目的としまして、平成31年3月に創設しまして、前年度末の残高では約20億8,000万円となっております。今年度の予算では、収支不足の拡大により、多額の財政調整基金を取り崩して対応しておりますが、新年度予算におきましては、施設修繕予算の一部に当基金を充当するなど、今後計画的に活用してまいりたいと考えております。以上が一般会計補正予算の歳入の内容となります。よろしくお願いいたします。

○**下村委員長** ありがとうございます。それでは、御質問等ございますでしょうか。

○**鈴木委員** 4項国庫交付金で学校給食費重点支援交付金が来ていると思うんですが、これの算定基準はどんなふうになってるのか。なぜこの質問をするかというと、保育に対する給付とかいろいろある中で、年度末に精算して戻す場合と、そのままもう来たものを使い切ってしまう場合とあると思うんだけど、どういう性質の交付金なんだろう。

○**瀬古澤財政課長** こちらは今年の5月に、昨年の補正予算で財源で割り当てられた以外の交付金がさらに各自治体に充てられておりまして、今回、先ほど御説明しましたとおり、約4,500万円追加交付というような形となりまして、事業費も2月の臨時議

会では低所得者支援分が約6億8,000万、推奨事業メニュー分が2億5,000万円の交付であったものですから、今回金額も少なかったこともありまして、給食費の無償化分のほうに充当させていただいたというような形となっております。

○鈴木委員　ということは年度末に精算して戻すという作業はない性質のお金という捉え方でよろしいです。

○瀬古澤財政課長　昨年度の臨時交付金分につきましては、そのような形でございます。

○平石委員　ちょっと関連なんですけど、今重点支援地方交付金とお話が追加交付というお話があったんですが、今、国会のほうでいろいろ審議していると思うんですが、それとはまた別のものという考え方でよろしいですか。

○瀬古澤財政課長　今回の補正予算に計上した分につきましては、昨年、国の補正予算で計上した分の追加交付分というような形でございまして、現在審議されている国の重点支援交付金につきましては、まだ土浦市自体にどれぐらいの金額が交付されるのか出ていない状況でございまして、現在、そちらのほうを注視している状況でございます。

○平石委員　分かりました。昨日県のほうで補正予算がという話があったので、土浦市のほうにも内示である程度金額はもう決まってるのかなと思ったので、そこも確認しなかったんで質問したんですけど、まだ決まってないってことでいいですか、金額は。

○瀬古澤財政課長　現状のところ、まだこちらのほうに連絡が来ておりません。

○海老原委員　製氷機かな、それとも給水機かな、3台。教育費寄附金か、その3台整備するのに予算計上されていますが、私のほうから各小中学校の給水機と製氷機何台入れたか、いつ入れたか、一覧表が欲しいんですけど、委員長、いいですか。

○下村委員長　はい。これは後程用意していただいて、配布していただければというふうに思います。

○瀬古澤財政課長　後程提供させていただきます。

○下村委員長　ほかにございませんか。

（「なし」という声あり）

○下村委員長　それでは、ないようでございますので、ここで賛否を確認いたします。この予算の歳入について、賛成とする方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

○下村委員長　全員賛成でございます。議案第92号歳入全部につきましては、全員賛成でございます。それでは、次の予算決算委員会全体会までに委員長報告書をまとめてまいります。つきましては、報告書に盛り込みたい意見等はございますか。

（「なし」という声あり）

○下村委員長　ないようですので、最後に今後の予定を申し上げます。次回、予算決算委員会は12月16日火曜日、午前10時から第1委員会室にて行います。慎重な審査をいただきまして、ありがとうございました。これにて、予算決算委員会を閉会いたします。